

<付録>

資料 1 ～ 4

資料 1

パフォーマンス評価の基本的な考え方

観 点	聞くこと	話すこと (やりとり)	話すこと (発表)	読むこと	書くこと
到達目標	ゆつくりと繰り返し返して話された挨拶やごく簡単な指示を聞き取ることができる。	身近で簡単なことについて、初歩的な単語や表現を聞いて、やりとりすることができる。	簡単な語や基礎的な句を用いて、自分についての年齢など)を伝えることができる。	アルファベットを確認し、発音できる。	アルファベットの大きな文字、小文字を書き写すことができる。
具体的な児童の姿	気分や曜日、天候について尋ねられた際、的確に聞き取り、ふさわしい返答を行うことができる。	自分の好きな色や形について、“I like~”という表現で答えることができる。 “What~do you like?”という表現を用いて、相手の好きなものを尋ねることができる。		音声を聞き、アルファベットの大きな文字で書くことができる。 音声を聞き、アルファベットの大きな文字で記入された単語を指さすことができる。	自分の名前をアルファベットの大きな文字で書くことができる。(小文字の併用可)
単 元	Small Talk	Lesson5 What do you like?		Lesson5 What do you like? Lesson6 What do you want?	Lesson1 Hello!
指導のポイント	<p><評価の方法及び場の設定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HRT、ALT 等と児童とで、既習事項を用いた英語による対話を行うことで、児童のそれまでの成果を評価する。 ・ 極端にフォーマルな形ではなく、リラックスした雰囲気の中で実施する。 ・ 児童はカードを持ち、HRT や ALT 等と、学習した単語や表現を用いた会話を楽しむ。(スタンプラリー形式) ・ 評価者は、児童の英語に多少の誤りがあっても、表情やジェスチャー等を加えてコミュニケーションを図ることができたかどうかで判断する。 ・ 再チャレンジの場を保障し、ほとんどの児童を A 評価まで引き上げることとする。 <p><評価前の注意点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニケーションの場面及び相手を伝える。 ・ どのような内容を表現すればよいのか事前に演示し、実際に 1 対 1 で対話してみる。 ・ 評価の規準 (A・B 段階) をしっかりと伝える。 <p><パフォーマンス評価後></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の感想等からやりとりの内容をフィードバックし、どのような表現ができてきたか、具体的な助言すること、次の学びへの意欲を高めるようにする。 ・ 単元の目標、学習内容に目を向け、指導過程及び評価場面、方法は適切であったかを検討し、今後の改善につなげる。 				
使用表現	<p>Hello. What's your name? How are you? How is the weather? What day is it today? Did you have breakfast? What did you have for breakfast?</p>	<p>Hello. What color/shape/animal/food/sport do you like?</p>		<p>Hello. Look at this picture. Where is "A" in this picture?</p>	<p>Hello, What's your name? Please write your name in English here.</p>

【パフオーマンス評価 ～本時の展開～】

- Lesson 1 Hello! 「世界のいろいろな言葉であいさつしよう」
 Lesson 5 What do you like? 「友だちにインタビューしよう」
 Lesson 6 What do you want? 「アルファベットをさがそう」

Small Talk 「簡単なやりとり」

1 到達目標

- (1) ゆっくりと繰り返し話して話された挨拶やごく簡単な指示を聞き取ることができる。(聞くこと)
- (2) 身近で簡単なことについて、初歩的な単語や表現を聞いてやりとりすることができる。(やりとり)
- (3) アルファベットを確認し、発音できる。(読むこと)
- (4) アルファベットの大文字、小文字を書き写すことができる。(書くこと)

2 具体的な児童の姿

- (1) 気分や曜日、天候について尋ねられた際、的確に聞き取り、ふさわしい返答を行うことができる。
- (2) 自分の好きな色や形について、“I like～”という表現で答えることができる。
 “What~ do you like?”という表現を用いて、相手の好きなものを尋ねることができる。
- (3) 音声を聞き、アルファベットの大文字を指さすことができる。
 音声を聞き、アルファベット大文字で記入された単語を指さすことができる。
- (4) 自分の名前をアルファベットの大文字で書くことができる。(小文字の併用可)

3 展開

過程	学習活動	聞くこと	話すこと	聞くこと・読むこと	読むこと・書くこと
導入	【Warming up】 1 あいさつ 2 本時の活動確認 3 めあての確認	〇楽しい雰囲気をつくり、授業をスタートさせる。 〇活動の内容、場所、順序、約束等を確認する。 〇Speak clearly, Happy face, Eye contactに気をつけてやり取りすることを確認する。	担当 Mr. Hyuga T: Hello, ○○. C: Hello. T: What color/shape/ animal/sport/food do you like? など C: I like red/circles/ dogs/sumo/bread. など	担当 Mr. Watanabe T: Hi. C: Hi. T: What's your name? ※氏名を尋ね、イニシャル を確認する。 C: My name is~. T: Wow!	担当 Ms. Saruta <書くこと> T: Hello! C: Hello! T: What's your name? C: My name is~. T: OK! Write your name in English here!
展開	【Main Activity】 4 パフオーマンス評価	担当 Mr. Jones T: Hello. C: Hello. T: What's your name? C: My name is~. T: How are you? C: I'm~. And you? T: How is the weather?			

終末	【Looking Back】 5 ふり返り 6 あいさつ	<p>C: It's sunny and hot. T: What day is it today? C: It's Wednesday. T: Did you have breakfast? C: Yes/No. T: What did you have for breakfast? C: Rice/Miso soup/Egg/Sausage/Nori. など ※様々な質問を聞き取り, 的確に答えられれば「聞くこと」は, A評価とする。</p>	<p>T: What color/shape/animal/sport/food do you like? など C: I like blue/stars/cats/sumo/sushi. など T: Thank you. C: What color/shape/animal/sport/food do you like? など T: I like red/circles/dogs/sumo/bread. など C: See you. T: Goodbye. ※H R T から色や形などを尋ねた後 (2 パターン) に, 子どもの側からも H R T に尋ねさせる。(1 パターン) ※好きな色や形, 動物, 食べ物等を尋ねられたとき, それらを的確に聞き取り, 答えられれば A 評価とする。(単語だけでもよしとする)</p>	<p>Your initial is O△. T: By the way, what card do you want? C: The "O" card, please. ※アルファベットカードを用意し, その中から選ばせる。 T: OK! Here you are. C: Thank you. T: You are welcome. T: Look at this picture. Where is "A" in this picture? C: テキストの中のアルファベットを指さす。 T: That's right! Very good/Excellent/Fantastic/Close, and so on. ※H R T から尋ねられた文字をイラストから見つけ, 的確に指さすことができれば, A 評価とする。 ※短時間でイラスト内のアルファベットを見つけて, 丸で囲むなど, 文字を目立たせる工夫をしておく。</p>	<p>※大・小文字, スペース等を活用して正しく記入できれば A 評価, ミスはあるものの記入できれば B 評価とする。 ※5年生は基本的に大文字を使用し, 6年生は小文字も使用することとする。 <読むこと> T: BLUE, GREEN, STAR, など 8つの言葉のうち1つを選択し, H R T が発音する。 (3回繰り返し返す) C: 発音を聞いて, 8つの言葉のうち1つを指さす。(3回繰り返し返す) ※発音を聞き, 3つとも正確に指さすことができれば A 評価, それ以外は B 評価とする。</p>
終末	○	できたことや Speak clearly, Happy face, Eye contact についての反省、これから生かしたいことをふり返りの視点として書かせる。			

ENJOY ENGLISH TIME

NAME _____

1 聞くこと ~日常会話~ (Hello!)

2 話すこと ~やりとり~ (What~do you like?)



Mr. Hyuga likes _____.

3 話すこと・読むこと (What do you want?)

4 感想

ENJOY ENGLISH TIME

5 書くこと

① MY NAME IS _____

6 読むこと

② BLUE GREEN RED PINK

DIAMOND TRIANGLE STAR